



2022 年11月11日

各 位

会 社 名 日産東京販売ホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹 林 彰
(コード番号 8291 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役経理部長 米 澤 領 一
(TEL 03 - 5496 - 5203)

連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は本日、取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期連結業績予想および配当予想につきまして、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 140,000	百万円 4,500	百万円 4,200	百万円 2,200	円 銭 33.20
今回修正予想（B）	140,000	5,500	5,200	2,700	40.69
増減額（B－A）	－	+1,000	+1,000	+500	
増減率（％）	－	+22.2%	+23.8%	+22.7%	
（参考）前期実績 （2022年3月期）	138,378	4,407	4,188	2,100	31.67

(2) 修正の理由

当上半期（4月～9月）の業績が次の通り計画を上回る実績となったことから通期連結予想値を上方修正いたします。

新車販売における車両供給減等の影響が継続する中、電動車（EV・e-POWER車）を中心に受注の確保に取り組んできた結果、売上高はほぼ計画通りで推移いたしました。

また利益につきましては、新型車効果、中古車相場の好況に加え、昨年実施した日産販売会社3社の統合効果による生産性の向上および販売費、一般管理費の削減効果により、計画を上回る実績となりました。

下期は車両供給が不透明な状況が継続する見込に加え、物価上昇による経費増が見込まれますが、計画通りの進捗を見込んでおります。

以上により、今年度の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回る見込みとなりましたので、通期連結業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 2023年3月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	円 銭 5.00	円 銭 5.00	円 銭 10.00
今 回 修 正 予 想	—	7.00	12.00
当 期 実 績	5.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	0.00	8.00	8.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を行うことを経営の重要課題のひとつと認識し、成長性を確保するための内部留保にも考慮しながら、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

上記の基本方針および今回の業績予想の修正を勘案し、年間配当金を前回予想より2円増額し12円（中間配当金5円、期末配当金7円）を予定しております。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上